

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課 文化財保護課	担当課長 新谷 勝行
---------------	---------------

重点目標	6	歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	<p>①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>
2. 文化財の保護と活用	<p>①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>②京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>
3. 資料館施設の整備充実	<p>①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み	H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
<p>① 京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>② 子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③ 文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>				
1 文化財保護啓発事業	文化財保護課			
市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。	885	-	-	統合(整理)

2. 文化財の保護と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
<p>① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>② 京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③ 京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>						
2 市指定文化財等補助金		文化財保護課	2,500	2,000	2,000	現状維持
文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。						
3 史跡等維持管理事業		文化財保護課	1,409	1,357	1,203	現状維持
指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。						
4 遺跡整備事業		文化財保護課	11,371	13,301	31,290	拡大
丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。						
5 遺跡発掘調査等事業		文化財保護課	3,501	4,331	6,249	拡大
発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護・活用につなげる。						
6 遺跡発掘調査等事業【繰越】		文化財保護課	-	2,317	-	縮小
平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行することにより文化財保護を図るとともに活用につなげる。						
3. 資料館施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
<p>① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>						
7 郷土資料館管理運営事業		文化財保護課	9,701	5,981	7,459	拡大
民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。						
8 古代の里資料館管理運営事業		文化財保護課	8,736	9,529	15,561	拡大
郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。						
9 指定管理施設運営事業		文化財保護課	8,346	8,505	8,436	現状維持
琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績) 担当課		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓						
10 文化財保護審議会委員設置事業		文化財保護課	219	191	235	改善・効率化
文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。						
11 文化財保護一般経費		文化財保護課	345	295	397	拡大
文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。						
計			47,013	47,807	72,830	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	1,384	H30	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	14,730	H30	15,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	H30	8	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 文化財セミナー(2回)、京丹後史博士育成講座(10回)、網野銚子山古墳発掘調査現地説明会、「小牧源太郎・上前智祐遺作展～京丹後市が生んだ二人の前衛画家の軌跡～」等の講座・展覧会の参加者(760名)のほか、高齢者大学・出前講座等の対応(29回、624名)があり、29年度末の数字を上回ることができた。魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 旧郷小学校へ移転した郷土資料館が平成30年4月にオープンし、初年度は網野郷土資料館時代と比べて多くの入館者があった。一方で丹後古代の里資料館の入館者は微減し、琴引浜鳴き砂文化館の入館者は2,000人近く減少した。 各館ともに、魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。</p> <p>《史跡整備》 京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施した。これを踏まえ、30年度より5年計画で整備事業を進めている。30年度は、当該年度の環境整備工事の実施設計および工事を行った。31年度以降も引き続き、実施設計および工事を進める予定である。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	京丹後史博士育成講座、文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行き、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	
細事業名	01 市指定文化財等補助金				決算書 P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額	
	2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%	2,000千円
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。				
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、府指定・登録文化財補助金該当 14件 2,000千円 ・京都府社寺等文化資料保全補助金該当 (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの) 5件 833千円 <p>事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、郷土芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などで、事業費の総額は、16,523千円であった。</p> <p>※参考 平成29年度事業実績 補助件数 26件 補助金額 2,500千円 事業総額 35,328千円</p>				
主な財源					
成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	
細事業名	02 史跡等維持管理事業				決算書 P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額	
	1,357千円	1,451千円	94千円	93.5%	1,237千円
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>○コウノトリモナリング事業報償費 213千円 天然記念物のコウノトリが市内で営巣・産卵したため、監視員を置き観察・記録するとともに巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。 (述べ25日、25人)</p> <p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 928千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、湯舟坂2号墳、竹野神社など15件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 89千円 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持経費 64千円 火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 25千円</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等修繕事業(土地借上、修繕費) 23千円 国・府指定文化財の看板1基(大田南5号墳)の修繕を行った。また従前から設置している看板(比治麻奈為神社案内、月の輪田・清水戸案内、鳴き砂案内)の土地借上料を支出した。</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業(工事請負費) 104千円 国・府指定文化財をもつ大宮売神社への案内看板の設置工事を行った。</p>				
主な財源					
成果・課題	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。 ○課題として、指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、適時整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡整備事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	13,301千円	33,761千円	20,460千円	39.3%		53,615千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な業務	<p>国史跡網野鈿子山古墳について、平成23年に策定した「網野鈿子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図りつつ整備を行うため、史跡整備検討委員会を2回開催した。検討委員会及び文化庁等の指導を受け、平成30年度整備工事予定部分について「網野鈿子山古墳環境整備実施設計」を行い、工事を実施した。</p> <p>なお、平成30年度整備工事は、工法の検討に時間を要し、年度内に工事を完了が見込めなかったため、令和元年度に繰越した。</p>					
事業の概要	<p>○網野鈿子山古墳整備事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬費 13,301千円 ・旅費 118千円 ・需用費 159千円 ・委託料 27千円 ・維持管理草刈委託料 793千円 ・鈿子山古墳環境整備工事実施設計委託料 2,484千円 ・工事請負費 鈿子山古墳環境整備工事費(前金払分) 9,720千円 					
主な財源	<p>国補 国史重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 6,142千円</p> <p>市債 遺跡整備事業費(過疎対策債) 6,000千円</p>					<p>繰越明許費を除いた最終予算額 13,481千円</p> <p>実質的な予算執行率 98.6%</p>
成果・課題	<p>■令和元年度への繰越事業</p> <p>網野鈿子山古墳環境整備事業 令和元年9月完成予定 20,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 18,464千円 ・工事施工監理業務委託料 1,816千円 <p>史跡整備検討委員会の指導を受け、網野鈿子山古墳の保存を図るとともに、環境整備工事を円滑に進めるための必要な実施設計を作成できた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	4,331千円	4,408千円	77千円	98.2%		3,792千円
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主要な業務	<p>整備に先立って網野鈿子山古墳発掘調査を実施した。また開発対応として、府営農業競争力強化基金整備事業に伴う女布遺跡の発掘調査、市道整備計画に先立つ林・大将軍遺跡の範囲確認調査を実施し、調査報告書を発行したほか、遺跡分布調査を実施した。</p> <p>○網野鈿子山古墳発掘調査 3,497千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年5月21日～12月25日 調査補助員賃金、共済費 1,611千円 作業員派遣委託料 1,555千円 需用費 プルシート、写真現像経費等 216千円 旅費 10千円 使用料及び賃借料 役務費 券電機借上、トイレ借上等 105千円 ・調査成果 後円部では良好な状態の心き石や道輪列を確認し、整備のための材料を得た。くひれ部から心き石が良好に残ることを確認した。 <p>○女布遺跡発掘調査 509千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年7月22日～7月19日 調査補助員賃金、共済費 114千円 作業員派遣委託料 136千円 需用費等 プルシート、写真現像経費、印刷製本費等 84千円 使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上、役務費等 175千円 ・調査成果 調査を行った範囲では、あきらかな遺構は見つからなかった。 <p>○林・大将軍遺跡発掘調査 209千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年9月25日～9月28日 調査補助員賃金、共済費 37千円 需用費等 印刷製本費 29千円 使用料及び賃借料 重機借上 143千円 ・調査成果 調査の結果、遺跡の範囲や残存状況を確認できた。 <p>○市内遺跡分布調査 116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成31年1月9日～2月27日 調査補助員賃金、共済費 116千円 					
主な財源	<p>国補 国史重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 2,000千円</p> <p>市債 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 1,000千円</p>					
成果・課題	<p>○網野鈿子山古墳の発掘調査では、残りの良い遺構を確認することができ、今後の整備につなげる知見を得た。また、くひれ部の調査は次年度に継続することとなった。</p> <p>○開発に先立つ発掘調査、確認調査では、遺跡の範囲や残存状況を確認でき、今後の開発事業との調整のための資料を得た。</p> <p>○市内遺跡分布調査では、将来の開発に備えた補足調査を実施することができ、今後の遺跡地図作成と文化財保護に役立つ知見を得た。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業（線越）					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	2,317千円		4,194千円		1,877千円	55.2%
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主要な事務	平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行した。					
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○途中ヶ丘遺跡発掘調査事業 ・現地調査期間 平成30年1月15日～5月2日 需用費 途中ヶ丘遺跡発掘調査報告書印刷製本費 43千円 委託料 途中ヶ丘遺跡発掘調査掘削及び現状復旧業務委託料 2,274千円 ・調査成果 <p>調査地の大部分は、公園造成による盛土であったが、遺跡の中心に近い西側の試掘トレンチでは、調査・工事履歴のない遺物を含む層を確認した。</p>					
主な財源						
成果・課題	試掘調査の実施および報告書の刊行により、今後計画されるグラウンド整備工事などの開発事業に対し、文化財保護を図りつつ円滑な調整を行うための資料を得ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	5,981千円		6,136千円		155千円	97.4%
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
主要な事務	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土資料館の老朽化に伴い、旧郷小学校校舎へ資料を移転し、平成30年4月に開館した。豊富に残る寄贈を受けた市所蔵の民俗資料を適切に保管・公開するとともに、「戦時中のくらし」や「むかしのお祭り展」、「こどもの前向き」などの企画展示を開催し、文化財の普及啓発活動を行った。また、体験ができるイベントとして「郷土資料館まつり」を行い、周知活動をするとともに、資料館の維持管理運営を行った。 平成30年度入館者数 1,684人 					
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○人件費 1,082千円 ・臨時職員賃金、共済費 臨時職員2人分の賃金七労災保険料 ○維持管理経費 2,690千円 ・光熱水費 1,064千円 ・消耗品費、燃料費、印刷製本費 405千円 ・通信運搬費等 93千円 ・機械整備委託料 82千円 ・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等） 344千円 ・修繕料（消防設備不良修繕等） 576千円 ・保険料（火災保険） 52千円 ・その他管理経費（コピー機リース料、テレビ受信料） 74千円 ○旧郷土資料館関係経費 2,172千円 ・工事設計委託料（旧郷野郷土資料館解体等費用） 37千円 ○体験用経費 19千円 ・原材料費（体験キット） 18千円 ・報償費（郷土資料館まつり謝礼） 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 使用料 郷土資料館入館料 54千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○郷野郷土資料館から旧郷小学校校舎へ資料等を移転し、「京丹後市立郷土資料館」として平成30年4月に開館した。 ○市内小学生の社会科見学を受け入れを行い、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。 ○今後、展示物の配置や展示の仕方などを工夫、改善していくことが必要である。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率		(参考) 当初予算額	
	9,529千円	9,643千円	114千円	98.8%	9,475千円	
目的	郷土の文化遺産に関する住民の関心を高め、文化にふれあひ、歴史を学ぶ機会を提供する。					
主要な事務・事業の概要	<p>市所蔵者古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため、夏休みの市内小学生入館無料、「新指定文化財」「墓石がでさるまで～中世墓地の展開と近世墓地の成立～」、「丹後震災を描く」と題した企画展示等を開催するとともに、丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成30年度入館者数 3,259人（平成29年度入館者数 3,491人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人件費 <ul style="list-style-type: none"> 資料館長報酬、共済費、費用弁償 5,744千円 資料館長報酬 2,438千円 資料館員賃金、共済費 3,306千円 臨時職員賃金、共済費 3,680千円 ○維持管理経費 <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 1,217千円 消耗品費、燃料費、印刷製本費 434千円 通信運搬費等 145千円 機械整備委託料 84千円 施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等） 535千円 土地借上料（2,915㎡） 304千円 修繕料（排水用水中ポンプ修繕等） 821千円 保険料（火災保険） 27千円 その他管理経費（清掃用具借上・コピー機リース等） 113千円 ○体験用経費 <ul style="list-style-type: none"> 105千円 70千円 35千円 ・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） ・報償費（窯焼謝礼） 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 使用料 531千円 諸収入 17千円 諸収入 94千円 諸収入 182千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○考古・歴史資料を紹介する企画展示等を開催し、文化財の普及啓発を図った。 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後より一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。 ○開館から20年以上経過しているため、屋内外の設備更新及び屋外施設（竪穴式住居等）の修繕等が今後の検討課題である。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 指定管理施設運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率		(参考) 当初予算額	
	8,505千円	8,506千円	1千円	99.9%	8,346千円	
目的	<p>琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理制度により、掛津区が管理運営を行っている。教育施設の性格を持つとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成30年度入館者数 9,787人（平成29年度入館者数 11,705人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 7,100千円 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び駐車場用地賃借料 1,245千円 ○備品購入費（事務用パソコン1台） 160千円 					
主な財源						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。一方、観光業者との連携に努めたものの、館への誘客に結びつかなかったため、前年度と比べ入館者減となった。 ○リピーターを含む市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕など市の施設として適正な運営に努める必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会設置事業	決算書	P.146
細事業名	01文化財保護審議会委員設置事業					
総合計画	計画項目		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	191千円	218千円	27千円	87.6%	218千円	
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 132千円</p> <p>市文化財の指定、市指定文化財の管理・現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため、審議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 半日×2回(4千円×15人) 116千円 ・費用弁償 1日×1回(7千円×8人) 16千円 <p>○両丹文化財保護連絡協議会の参加経費 59千円</p> <p>平成30年度は与謝野町で開催。事前の打ち合わせ会議の出席(平成30年6月18日) 会長1人 当日の協議会(平成30年10月23日)への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 事前打ち合わせ 半日×1人(4千円×1人) 53千円 協議会出席 1日×7人(7千円×7人) 6千円 ・費用弁償 					
主な財源						
成果・課題	<p>○文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。</p> <p>○新たな文化財指定について審議を行い、現地調査を行った。次年度以降の指定に向け、審議を進めることができた。</p> <p>○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において報告や意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	決算書	P.146
細事業名	01文化財保護一般経費					
総合計画	計画項目		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	295千円	325千円	30千円	90.7%	325千円	
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財関係加盟団体経費 70千円</p> <p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 40千円 ・全史協近畿地区協議会 10千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円 <p>○文化財収蔵施設維持管理費 76千円</p> <p>資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費(成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 36千円 ・火災保険料 17千円 ・卓列委託料 23千円 <p>○一般事務経費 149千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 46千円 ・旅費(史跡整備市町村協議会会議出席等) 103千円 					
主な財源						
成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					